

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～30℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり225kgの水揚げで、前週の80%（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり2.7トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり168kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり11kgの水揚げ。（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/20～8/24の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～桧山沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延4隻、総計88箱、1航海最高29箱、平均22箱。スルメイカ（30～40入）41箱、ケンサキイカ（2～3立半）47箱の混獲となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-18号 6県ケンサキイカ情報（令和4年度 第3号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>